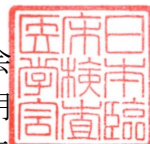


2023年10月25日

日本専門医機構 認定 臨床検査専門医
2024年1月1日付 更新該当者 各位

日本臨床検査医学会
理事長 大西 宏明
日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会 委員長 山田 俊幸



「日本専門医機構 認定 臨床検査専門医」更新申請のための提出要領について

先生には、2019年1月1日付で日本専門医機構認定臨床検査専門医（以降：機構専門医）としての更新いただいております。2023年12月31日が日本専門医機構認定臨床検査専門医 資格5年の有効期限となりますので、更新手続きを2023年12月4日までにお願いします。

日本専門医機構基本領域専門研修プログラム基幹施設、連携施設の指導医は、「機構専門医」として更新する必要があります。

もし、当学会が認定している日本臨床検査医学会臨床検査専門医での更新、あるいは、日本臨床検査医学会名誉臨床検査専門医の申請を希望される場合は、事務局まで、E-mailにてご連絡ください。申請書類をメールでお送りいたします。

以上、宜しくお願い申し上げます。

「日本専門医機構 認定 臨床検査専門医」更新申請書類提出要領

日本専門医機構 認定 臨床検査専門医 更新提出書類 詳細

※日本専門医機構認定臨床検査専門医 更新基準単位の **50 単位以上** (免除者 **40 単位以上**)

(1)資格更新申請書 (様式 1-1)

(2)勤務実態の自己申告 (様式 1-2)

(3)単位集計表 (様式 1-3)

50 単位以上 (診療実績免除者は **40 単位以上**) になるように記入してください。

(4)診療実績 (別表 1)

5 単位以上 10 単位以下が必要です。

実績を証明する報告書などのコピーを添付してください。

過去 3 回更新済の方と更新時に **65 歳以上**の方は、診療実績が免除され、別の種目での代替も不要です。

(5)共通講習受講単位表 (別表 2)

必須である「医療安全」「感染対策」「医療倫理」の 3 種類の講習で 3 単位以上 10 単位以下が必要です。

保管している受講証明書 (コピー可) を提出してください。

認定された講習会の講演者は 1 単位が加算されますので、受講証明書の余白にそのことを明記して、抄録該当箇所のコピーを証明として提出してください。

認定される講習会単位は、原則、直近 5 年 (2018 年 11 月以降) に取得したものになります。

日本臨床検査医学会認定以外の共通講習 (他の基本領域学会、施設、医師会で行われたもの) も有効ですが、日本専門医機構の認定を受けている受講証明書を提出してください。

(6)臨床検査領域講習受講単位表 (別表 3)

20 単位以上必要です。

保管している受講証明書原本 (コピー不可) を提出してください。

認定された講習の講演者は 1 単位が加算されますので、受講証明書の余白にそのことを明記して、抄録該当箇所のコピーを証明として提出してください。

認定される講習単位は原則、直近 5 年 (2018 年 11 月以降) に取得したものになります。

(7) 学術業績・診療以外の活動実績 (別表 4)

最大 15 単位まで合算可能です。

必須の単位ではありません。(4) (5) (6) で充足されている場合は不要です。

内容を証明するもの（日本臨床検査医学会学術集会参加シール（またはネームカード）、抄録コピー、会員マイページに参加と登録されている箇所を印刷したもの、論文1ページ目のコピー等）を提出してください。

(8)日本専門医機構認定臨床検査専門医 審査料・更新料：税込 11,000 円（10%対象・消費税 1,000 円）

なお、当学会での一次審査合格後、日本専門医機構での二次審査があり、その承認後に、別途、日本専門医機構システム（JMSB Online System+）に登録のうえ更新料 11,000 円を決済いただくことになります。

*同封した郵便振替用紙に氏名、認定番号を記入のうえ、ご納入いただき、その受領証コピーを同封してください。

*下記の何れかの当会口座への送金も可能です。送金人名を「認定番号 氏名」として送金のうえ、納入証明を同封してください。

【郵便振替】

口座記号番号：00140-9-613334

加入者名：日本臨床検査医学会（ニホンリンショウケンサイガクカイ）

【ゆうちょ銀行】

〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）

当座 0613334

口座：日本臨床検査医学会（ニホンリンショウケンサイガクカイ）

【三菱 UFJ 銀行】

支店名：神保町（ジンボウチョウ）支店

預金種別：普通預金

口座番号：2358455

口座名義：日本臨床検査医学会（ニホンリンショウケンサイガクカイ）

(9)過去 5 年間に日本臨床検査医学会の未納会費がある場合は、会員マイページからご納入ください。会費納入状況は、員マイページからご確認ください。

あるいは、更新料と合算いただくことも可能です。

*過去 5 年間に未納会費がある場合で、更新料と合算して納入された場合は、納入後の郵便振替受領証コピー（別々での納入の場合は、それぞれの受領証コピー）

【提出期日】 2023 年 12 月 4 日（月）

【送付先】 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 UIビル2F
日本臨床検査医学会「日本専門医機構 専門医更新」係

【日本専門医機構 基本領域 臨床検査専門医の更新延長について】

特別基準 1

I. 特別な理由（留学、妊娠、出産、育児、病気療養、介護、管理職、災害被災など）のために専門医の更新ができない場合は、各専門医が事情に応じて以下の2つ(I-1又はI-2)

の方法のいずれかを選択することができます。

I-1. 専門医としての活動や自己学習が完全にできない期間があり、更新が困難になると予想される場合：

更新延長申請書（開始、終了期日を記載）と理由書を提出し、延長期間は原則1年とし、事情によって1年単位での延長が可能です。猶予期間の満了や終了は日本臨床検査医学会日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会への申請と承認が必要です。その後、専門医としての活動が再開できます。活動休止期間を除く前後の合計5年間に規定の50単位を取得して次の専門医資格を更新します。

I-2. 専門医としての診療活動を定期的にできないが自己学習などが継続できる場合：専門医更新基準のうち、診療実績の基準を満たすことができないが、専門医共通講習、領域別講習および学術業績の更新基準を満たすことができる場合、次回更新時に、領域専門委員会と機構に理由書を提出し、承認が得られれば、「自己学習の評価」をもって診療実績の不足分を補うことができます。自己学習の評価については別途定めま（臨床検査領域では認定試験の筆記試験またはe-learningを想定しています）。

II. 上記I以外の理由により規定更新単位を満たせなかった場合。

何らかの事情のため規定の更新単位を満たせず、専門医資格の更新ができなかった場合には、上記委員会に理由書を提出し、審査を受けなければなりません。

審査において、正当な理由があると認められた場合は、失効後1年以内に更新基準を満たすことで専門医資格を復活することができます。

（失効後復活までの期間は、機構専門医ではありません。）過去に、学会あるいは機構専門医であったが、何らかの理由で資格を失った場合、資格喪失の理由書を添えて資格回復の申請を行い、上記委員会で認められた場合は、5年後に、更新基準を満たすことにより資格を回復できます。

以上、ご確認のうえ、任意で結構ですので、必要書類をご用意いただき、申請をお願いいたします。

日本専門医機構認定 臨床検査専門医 資格更新申請書

20 年 月 日

一般社団法人 日本専門医機構 御中

フリガナ

氏 名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

勤務先名 _____

勤務先住所 〒 _____ - _____ TEL : _____

自宅住所 〒 _____ - _____ TEL : _____

学 歴 _____ 年 _____ 月 _____ 大学卒業

医籍登録番号 第 _____ 号

医籍登録年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

専門医登録番号 第 _____ 号 初回認定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

現在の認定期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日

学位 あり なし

メールアドレス _____

勤務実態の自己申告 (必須)

勤務実態の自己申告

直近1年間の勤務実態について記載してください。はい、いいえの欄は一方に○を付してください。

勤務形態について

- a. 病院で臨床検査部門の常勤医師として勤務している (はい、いいえ)
勤務施設名() 診療科・部署の名称()
- b. 診療所で臨床検査部門の常勤医師として勤務している (はい、いいえ)
勤務施設名()
- c. 病院または診療所で臨床検査部門の非常勤医師として勤務している
(はい、いいえ)
- 複数ある場合はすべて記載
() 時間/週 勤務施設名()
() 時間/週 勤務施設名()
() 時間/週 勤務施設名()
- d. 検診機関、臨床検査関連企業等で臨床検査に携わる医師として勤務している
(はい、いいえ)
- () 時間/週 勤務先()
業務内容()
() 時間/週 勤務先()
業務内容()
- e. その他：a～dに該当しない場合
() 時間/週 勤務先()
臨床検査に関連した業務の内容
()
-

専門医としての活動概要

平均的な 1 週間あたりの診療関与時間

- 診療活動・・・小計 () 時間/週
 - ・ コンサルテーション対応 () 時間/週
 - ・ 検査結果コメントの作成 () 時間/週
 - ・ 臨床検査のオーダー、実施 () 時間/週
 - ・ 精度管理業務 () 時間/週
 - ・ 外来・病棟における患者への検査説明等 () 時間/週
 - ・ その他 (内容:) () 時間/週

- 診療管理と教育活動・・・小計 () 時間/週
 - ・ カンファレンス () 時間/週
 - ・ 診療に関わる委員会活動 () 時間/週
(臨床検査部運営委員会・精度管理委員会・感染対策委員会・輸血療法委員会等)
 - ・ 学生・研修医・専攻医指導 () 時間/週
 - ・ メディカルスタッフ指導 () 時間/週
 - ・ 患者・家族等に対する教育啓発活動 () 時間/週

- その他の臨床的活動・・・小計 () 時間/週
 - ・ 検診・健康相談対応 () 時間/週
 - ・ 臨床に関わる書類作成 () 時間/週
(外部精度管理報告書、臨床検査関連会議の議事録、等)
 - ・ 行政機関等の依頼に基づく調査と報告、提出書類の作成 () 時間/週
 - ・ その他 (内容:) () 時間/週

- 専門医として相応しい病院外での医療活動・・・小計 () 時間/週
 - ・ 外部検査機関での活動 (内容:) () 時間/週
 - ・ 外部医療機関の指導 (内容:) () 時間/週
 - ・ その他 (内容:) () 時間/週
(内容:) () 時間/週
(内容:) () 時間/週

単位集計表

項目		取得単位	更新申請に必要な単位
i) 診療実績の証明 (別表1と実際の記録を提出)	報告書数	単位	5単位以上 最大10単位
ii) 専門医共通講習 (別表2と受講証明を提出)	a 必修講習	医療安全 :	計3単位以上必須 (3種類)
		感染対策 :	
		医療倫理 :	
	b その他	単位	
	a+b	単位	3単位以上必須 最大10単位
iii) 臨床検査領域講習 (別表3と受講証明を提出)		単位	20単位以上
iv) 学術業績・診療以外の活動実績 (別表4と関連書類を提出)		単位	0~15単位
総合計 (i + ii + iii + iv)		単位	50単位以上必要

診療実績

以下に該当する場合は□にチェックしてください。診療実績の提出が免除されます。

過去3回以上の更新歴がある。

申請時（2024年1月1日）に満65歳以上である。

※ 原則3種類以上の項目の提出をお願いいたします。

項目名	必須25～50件の件数
①検査報告書（1例につき0.2単位）	
尿沈渣	
穿刺液・体腔液の細胞検査	
末梢血液像	
骨髄像	
フローサイトメトリー	
リンパ節スタンプ標本	
蛋白分画	
免疫電気泳動	
免疫固定法	
アイソザイム	
リポ蛋白電気泳動	
脂質分画	
アミノ酸分画	
グラム染色・抗酸菌染色所見	
細菌培養同定	
耐性菌検出報告・指導	
薬剤感受性試験	
抗酸菌検出	
血液型判定(変異型など)	
不規則抗体判定・指導	
病原体核酸検査	
造血器等腫瘍遺伝子検査	
薬物代謝関連遺伝子検査	
超音波検査	
循環器機能検査	
呼吸機能検査	
血管機能検査	
神経筋検査	
その他 （特定してください。日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会が審査します。）	

②臨床検査室管理業務（1例につき0.2単位）	
内部精度管理	
外部精度管理	
インシデント・アクシデント対応	
臨床検査技師への指導・講義	
その他（特定してください。領域専門医委員会で審査します。）	
③コンサルテーション対応（1例につき0.3単位）	
検査外来での説明	
施設内・外からのコンサルテーションへの対応	
健診・人間ドックでのコメント、説明	
遺伝子検査に関する患者・家族/主治医への説明	
その他 （特定してください。領域専門医委員会で審査します。）	
合計	件 単位

注）関連書類は個人情報に留意してください。

提出書類は、本表と対応がわかるように項目名を記し表中順での提出をお願いします。

①は、診療報告書と同一のもののコピーとしてください。紙媒体報告書の場合は日付、報告者のサイン（または印）のあるものにしてください。デジタル報告書の場合は、画面のハードコピーでもいいですが、日付、報告者名がわかるものとしてください。

② ③はその記録の原本が施設に保管されているものとします。

【報告書1枚の単位数】

- 1) 担当した症例の診断報告書 1例につき0. 2単位
- 2) 検査部門管理記録 1例につき0. 2単位
- 3) コンサルテーション記録 1例につき0. 3単位

共通講習 単位表

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
医療安全					
感染対策					
医療倫理					
その他					
必修小計：					
その他小計：					
小計：					
総合計					単位

・年次ごとのそれぞれの単位数の合計を記入ください。

・受講証明は年次順にまとめて提出してください。

・必須である「医療安全」「感染対策」「医療倫理」は3単位（3種類）以上必要です。

※2018年11-12月に取得されて、前回の更新で使用されなかった場合の講習は、2019年に記載してください。

臨床検査領域講習 単位表

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
小計：					
総合計					単位

・年次ごとのそれぞれの単位数の合計を記入下さい。

・受講証明は年次順にまとめて提出して下さい。

※2018年11-12月に取得されて、前回の更新で使用されなかった場合の講習は、2019年に記載して下さい。

学術業績・診療以外の活動実績

活動内容	認定単位	取得単位
学術集会への参加*1 (最大6単位まで)	1/日	
学術集会での発表*1	1/回	
同上共同演者 (第2演者1名に限ります)	1/回	
査読制度のある術誌における論文の筆頭著者	2/篇	
同上共同筆者	1/篇	
臨床検査に関する専門書籍の刊行者*2	2/篇 (単著)	
	1/篇 (共著)	
臨床検査に関する総説の筆頭著者*2	1/篇	
学術集会の座長*1	1/回	
学術雑誌の査読者*2	1/回	
専門医試験委員会より委嘱され臨床検査専門医認定試験問題を作成した場合、その他の認定試験を問題作成した場合。(年1回に限ります)	1/回	
専門医認定試験における試験委員・監督などの業務に携わった場合 (年1回に限ります)	1/回	
所属施設の臨床検査関連会議における指導的業務*3		
院内感染対策委員会	0.1/件	
輸血療法委員会	0.1/件	
栄養評価委員会	0.1/件	
医療安全委員会	0.1/件	
地域医療への貢献		
外部施設における臨床検査部門の査察・指導・啓発活動の実施	1/回	
外部施設における臨床検査部門の査察・指導・啓発活動への参加	1/回	
外部精度管理事業の指導	1/回	
日本臨床検査専門医会が主催する臨床検査の啓発活動	1/回	
専攻医・学生・メディカルスタッフ等への教育・指導	1/回	
	合計	単位

注) 出席、参加の証明となるものを提出してください。本表と対応がわかるような提出をお願いします。

*1: 日本臨床検査医学会 (支部含む)、WASPALM、ASCPALM、AACC、IFCC、ASCPなどの国際学会、日本検査血液学会、日本臨床化学会、日本臨床微生物学会、日本超音波医学会、日本遺伝子診療学会、日本生物試料分析学会などが主催する学術集会、その他は申請により日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会が認定します。参加とは、終始学会会場にあって積極的に討論に参加することを意味します。

*2: 書籍・雑誌の適否は日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会が認定します。商業誌は対象になりません。

*3: 提示以外の施設内委員会で日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会が認定したものも含まれます。